

第73回東海北陸敦賀大会全体会報告

報告者 池田耕蔵（県P連事務局）



全体会場



お出迎え



東陸丸出航（開会）

□全体会

- 1 日時 平成29年10月7日（土）12:00受付開始
- 2 会場 敦賀市総合運動公園体育館
- 3 内容
 - (1) オープニング
 - ・ 福井商業高等学校チアリーダー部 J E T S
 - ・ NPO法人 Jelly Beans（J Bチーズ）
 - (2) 開会式
 - ・ 功労者表彰 ・ 来賓祝辞
 - (3) 記念講演
 - ・ 歴史コメンテーター 金谷 俊一郎 氏
 - 演題「つながり」～歴史人に学ぶ～
 - (4) 閉会式
 - ・ 感謝状贈呈 ・ 実行委員長お礼の言葉
 - ・ 時期開催地紹介 ・ 閉会宣言

4 講演内容の概要

歴史へのきっかけは、父が本棚に岩崎弥太郎など経済人の伝記本をそっと入れておいたこと。その後学校図書館のヘレンケラーなど、伝記本を読み切った。さらに、京都市立図書館の伝記本をほぼ読み切ったとき、図書館の方が書庫にある昔の伝記本を紹介してくれた。それから歴史に興味を湧いた。しかし、学校の授業はつまらなかった。（先生が悪いわけではないが）

それは、学校では、伊能忠敬は正確な日本地図を作成したと教わるが、実際正確だった。誤差 0.2% 当時のヨーロッパの地図は、5%の誤差。これはヨーロッパでは方位針を使って測量していたが、忠敬は、北極星をもとに測量した。これだと天気の良い日は仕事ができない。しかし、正確。

さて、忠敬が日本地図をつくった本当の目的は何だったか？それは、地球の大きさを知りたかったから。「人間は、夢を持ち 前へ歩き続けるかぎり 余生は要らない」こうしたことは教えてもらえない。歴史の面白みはここだ。大化の改新しかり。歴史の真の背景を知ることが面白い。

福井県には、大谷吉継、新田義貞、本多重次、岩佐又兵衛、松木床左衛門、岡倉天心、橋本左内、杉原千畝、林歌子、奥むめお、禿すみ、岡田啓介・・・沢山の人物が輩出している。

どの方も奥ゆかしい。すばらしい業績があっても知られていない。禿すみさんは、勲章をもらっているが、生徒のお陰と言ひ人前で勲章をつけることは生涯なかったと言われている。西郷隆盛をして尊敬すると言わしめた橋本左内。わずか15歳で「啓発録」を書き上げている。その中で、友達には「損友」と「益友」という二つの種類がある。その違いをよくみて選ぶことが必要である。友人の中に「損友」がいたら自分でその人を正しい方向へ向けてやらなければならない。もし「益友」がいたら、自分の方から声をかけて、どんなことでも相談していつも兄弟のようにつきあうべきである。云々

大会テーマは「つながり」この地の先人は、自らの思惑ではなく、人のため、世のために、自分の信念を貫いた人物が多くいる。この地の流れ、つながりを未来の子どもたちに伝えていただきたい。